

## NPO グランアークの考える 福祉教育・地域連携について

NPO グランアーク 運営事務局 阿波連愛香 氏



『ハイタイ、ぐすうよう今日拝なびら、わんね～、NPO グランアークが運営すん首里儀保町ぬ地域サロン【ゆんたくばあ〜めぐみ】んかい所属す〜いびん、わ〜ばいや〜ナース（余計なお節介ではなく、偉大なるお節介を目指し、奮闘中）ぬ、阿波連愛香やいび〜ん、ゆたさるぐとう、うにげ〜さびら♪

令和 5 年5月から、首里儀保町で『地域のみんなでつくる健幸長寿サロン・ゆんたくばあ〜めぐみ』を開所しております。令和4年度に、休眠預金活用事業で採択を受けて『沖縄認知症見守りコンソーシアム・認知症の方々も安心・安全な外出を担保できるまちづくり事業』で活動中です。

歩いて行けるご近所に、高齢者が主体性をもって活動のできる居場所があることで、身体的、精神的、社会的フレイルの予防、認知症になっても、地域での生活維持、QOL（生活の質）の向上、社会参加寿命延伸の仕組みを構築していくことを目指しています。

開所して、まだ半年ですが、ご近所の方々が集うサロンを拠点として、民生委員、町内会世話人、那覇市社会福祉協議会（地域見守り隊）、首里圏域各地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等、日頃から多くの支援者の方々とコミュニケーションを図る機会が増え、現状の介護度に添った暫定対応ができないケースや該当支援先がなく困っているケースなど、シームレスな対応が困難だった隙間支援の解消、解決を実現することができてきております。

◀毎月第2(木)  
ちょいとオシャレに、ゆんたくランチ会



売れっ子美容師さんだった方に、ヘアブローのアドバイスを受けているところ▶



MCI（軽度認知障害）などで、支援の狭間の方や認知症の方とご家族の支援に向けた地域資源としても、安心・安全な地域環境整備に向けての拠り所、地域の方々との繋がり（自助・共助・互助）を構築、サロンで集う方々でできる見守り支援体制の取り組みを始めております。

福祉教育としましては、今回、那覇市社会福祉協議会からの協働依頼で、城北中学校2学年5クラスへ、高齢者疑似体験学習の講話及び指導を行い、必要な支援への関心、対応への知識を学んでもらいました。地域密着型人口である子供たちは、同じく地域密着型人口である高齢者の方々の心強い見守り支援者です。子供たちにとっても、地域活動で貢献されている高齢者や身体的に不自由な高齢者との世代間交流は、人間同士の互助精神『ぴとぅだすきやどぅたすき / 人を助けることは、いずれ自分の助けになる』を学ぶ、大切な機会になります。地域の高齢者の方にとっても、健康長寿で社会参加寿命を延ばすことは、地域の子供たち、若者への生き字引的な援護者としての存在、地域全体の活性、健康度強化を担う存在となります。



認知症のある方の地域支援日、ランチ後に懐かしい地域散策時間♪



三線よりもギターの音色が好き!ご近所先生に学ぶ会での一コマ♪



# なは地域貢献便り 1月

「なは地域貢献便り」は、那覇市内の社会福祉法人等施設が、地域の応援団として取り組む情報誌です。

## 2023 年度 地域貢献活動アラカルト

### ①安岡中学校の校外ボランティア活動 近隣保育施設へ福祉体験のマッチング

安岡中学校（平良 一 校長）では、担当の佐久川教諭から、2 年次の 8 組、校外ボランティアで何をしたいかを話し合いました。結果 5 クラス（100 名）が保育施設での体験学習の希望がありました。続いて、近隣の公園のごみ拾い、海岸清掃、子ども食堂の手伝い、食料支援の物資の仕分け等、生徒たちが意思表示した内容を尊重し、ボランティアのマッチングを行いました。今回は保育施設とのマッチングの状況を報告します。

那覇市社協ボランティア・市民活動センターでは、近隣の 28 法人の保育施設にボランティアの受け入れについてアンケートをとりました。結果19園から可能と返答をいただきました。残念ながら学校との日時があわず、5園が受け入れ可能とのことで活動の様子を写真でご紹介させていただきます。各法人の殆どが、受け入れについては前向きでした。また、お断りになられた園では、行事や職員の体制、敷地が狭く、環境的に厳しいという状況もわかりました。今回、福祉体験学習を体験された生徒からは、「今回の校外ボランティア活動を通して、皆様にあたたかく迎え入れてもらったことや、てきぱきと働く姿に感動しました。これからの生活で活かしていきたい」と感想を述べていました。



おおたけ保育園



みやびの杜保育園



ながやま保育園



安謝子ども園

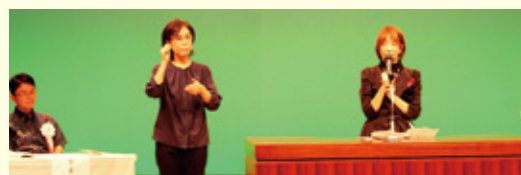


児童支援センターいろは

### ②第47回那覇市社会福祉大会において、 優良社会福祉施設に4団体が受賞

去る、令和 5 年 10 月 13 日（金）パレット市民劇場において第 47 回那覇市社会福祉大会が開催されました。特に今回は、優良社会福祉施設として、ちゅいしいじい事業の社会福祉構成施設の中から 4 団体が次の通り受賞されました。

社会福祉法人	ゆうなの会	理事長	玉城篤子氏
社会福祉法人	そてつの会	理事長	新元時雄氏
社会福祉法人	うるま福祉会	理事長	高良桂子氏
社会福祉法人	からし種の会	理事長	棚原信子氏



優良社会福祉施設を代表して挨拶 ゆうなの会理事長 玉城篤子氏

### ③令和 5 年度 正清会久田病院 無料塾合格状況 11月17日現在

正清会 久田病院（理事長 与儀英明氏）事務長 久田護雄氏、部長 大城盛博氏では令和 2 年度から看護師を目指す学生の無料塾を始めました。令和 5 年度の合格状況を報告します。

合格者 25 名 令和 2 年度～5 年度累計 60 名

推薦	1. 那覇看護専門学校	6 名
	2. 沖縄看護専門学校	6 名
	3. 浦添看護専門学校	4 名
	4. 奄美看護福祉専門学校	1 名
	5. 城西国際大学	1 名
一般	1. 那覇看護専門学校、 沖縄看護専門学校ダブル合格	3 名
	2. 那覇看護専門学校	3 名
	3. 浦添看護専門学校	1 名





#### ④山下町文化祭 大盛況

コロナ禍を通して、地域の活動を考える契機となったペリー保育園の賀数博理事長は、これまでの集大成として文化の日に山下町の文化祭を試みました。

山下自治会(上原康永会長)の事務局長も務めており、山下地域を愛する一人です。ちゅいしいじい事業に関わって地域のつながりが大事だということに気づき、つながりを深めるために、イベントを開催することを考えました。準備期間は短かったのですが、舞台発表には、婦人会の踊り、新城空手道場の演武があり、那覇市地域包括支援センターかなぐすくや、那覇市社会福祉協議会、小禄第二の民生委員児童委員協議会のパネル展示がありました。また、地域のゴーヤーやバザー用品の収益は自治会に寄付されるなど、地域のありのままの姿が見られて意義深い催しでした。



#### ⑤城北中2年生 お年寄りの不自由さを体験

那覇市立城北中(仲間健校長)は、9月に2年生の5クラス単位で、5日間に授業を分けて、家庭教育のノーマライゼーション教育の一環で、装具をつけて不自由な身体感覚を体感し、高齢者への生活の理解を深めました。生徒たちは耳や目、膝等の感覚が衰えた高齢者の疑似体験をするために、目には視野がcaすむゴーグル、耳にはイヤーマフラー、肘、膝にはギブスを巻き、手には手袋を装着しました。目と膝の具合の悪い祖母がいる生徒は、身体が不自由な人の気持ちがイメージできたと話しました。

体験授業には、那覇市地域包括支援センター大名、同センター石嶺、NPO 法人グランアーク、那覇市社会福祉協議会、校区の首里第三民児協の民生委員児童委員も協力し見守りました。企画された家庭科の津波文江教諭は、「教科書だけでは生きた授業は出来ないと考え実際に体験してもらった。生徒の心に何か残ってくれたら」と話されました。



#### ⑥山下町地域福祉懇談会

山下地域は、交通不便地域で、スーパーや銀行などが遠方にあり、買い物などに高齢者等が不便を感じている状況があります。住み慣れた住民も高齢化が深刻化し、地域の動きとして、地域見守り隊の結成や、千草福祉会の高齢者の移送支援の検討を含めて地域の気になる世帯や、ニーズを把握する必要があります。そこで山下町自治会、民生委員児童委員、地域包括支援センターかなぐすく、ペリー保育園、千草保育園等を招いて地域福祉懇談会を去る12月7日(木)軍用地主会館にて開催しました。



- ①冒頭あいさつ、小禄第二民児協 我如古エイ代会長 参加者紹介 23名
- ②山下町の現況と課題(那覇市社協小禄担当 CSW 前川三奈主任)
- ③意見交換 主な意見は以下の通り

- ペリー福祉会 理事長 賀数博氏は“きっず声かけ見守り”、理事長の実家を提供して那覇市地域包括支援センターかなぐすく(安次富所長)に使用料 3,000 円で、認知症カフェの実施、子どもの居場所「つなぐ」には(無償)提供、今後山下町自治会(上原康永会長)に地域見守り隊を実施予定
- 千草福祉会(金城弘子理事長)あやめ保育園金城佑佐園長は、放課後デイの車両の空き時間を買物難民の山下地域の高齢者に送迎サービス(車輛と運転手提供)で地域に恩返ししたい。(首里の大名第二団地自治会の事例を社協の新垣聡美副主任が説明)
- 会員世帯は高齢化が著しく、班長が会費集金するも、歩行不安定でドアを開けてくれるのに時間がかかる。困っていると思われるが、頑なに困り事を話してくれない。どうすればよい?
- 台風後の庭の清掃が気になるが、誰かにお願ひできないか。包括にも相談したい。
- 現在一人暮らしで今日はこの場での発言が、人と話す初めての場、独居には地域のイベントは多くの人との会話が出来る嬉しい。
- 包括は、地域の困っている人を見つけ支援する事、今日の自治会のお話はとても重要
- 自治会として、今日の懇談会は良いと思う。こういうことを地域で続けてほしい。
- 二つの法人の取組は素晴らしい、見守り隊や送迎サービスもとても良い取り組みですが、どのようにニーズを拾うかが課題
- まとめ 社協は、今日浮かび上がった高齢者から、見守り隊や、送迎サービスをまずはお試しで取り組んでいく事が大切、見守り会議開催等により、口コミで広がっていくと考えます。

### 令和5年度 那覇市社会福祉法人等施設連絡協議会 総会

**日時** 2024年3月18日(月) 午後1時受付 2時開催～4時30分

**場所** 沖縄県総合福祉センターゆいホール

4年間の補助を受けた那覇市のちゅいしいじい事業のこれまでと今後についての報告をいたします。那覇市内の社会福祉施設であれば、参加可能です。



#### 生活困窮家庭への食糧寄付緊急募集

**那覇市の社会福祉施設全体の地域福祉課題共通の取組目標**  
身近な相談窓口(気軽に立ち寄れる拠り所)と食料支援の一体化

**募集期間** 令和5年(2023年)11月1日(月)～令和6年(2024年)2月29日(木)

**募集内容** ☐米(可能な限り2020年度以降の米)  
☐缶詰 ☐レトルト食品 ☐カップ麺 ☐防災品 ☐お菓子  
※全て未開封、賞味期限3か月以上あるもの ※特にお米の支援ニーズが多くなっています

**受付場所** 那覇市社会福祉協議会(那覇市総合福祉センター)  
tel.098-857-7766 担当:山城章



#### 那覇市生活困窮世帯応援事業

**2023年(令和5年)度**

### ちゅいネットなはチャリティーボウリング大会開催要項

多くの方々がボウリングを楽しみながら、誰しもが生活困窮となりえることへの理解と関心を寄せて頂くことを目的に開催します。

**主管** 那覇市社会福祉法人等施設連絡協議会チャリティーボウリング実行委員会

**期日** 2023年12月1日(金)～2024年2月29日(木)

**場所** 沖縄県ボウリング場協会加盟の3会場

**スカイレーン** ☎098-858-1005 那覇市具志 875  
**サラダボウル** ☎098-869-0204 那覇市辻 3丁目4-1  
**エナジックボウルサザン** ☎098-888-5656 南風原町字宮平 460-1

参加方法及び参加料 チケットは下記の事務局でお買ひ求めください。

**参加券は1枚1500円(2ゲームのプレー代金含む)**

\*シューズ代300円は自己負担です。

●差引純利益は、生活困窮世帯及び子どもの居場所等の支援に充てられます

**問い合わせ** 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 ☎098-857-7766

